

花畑川

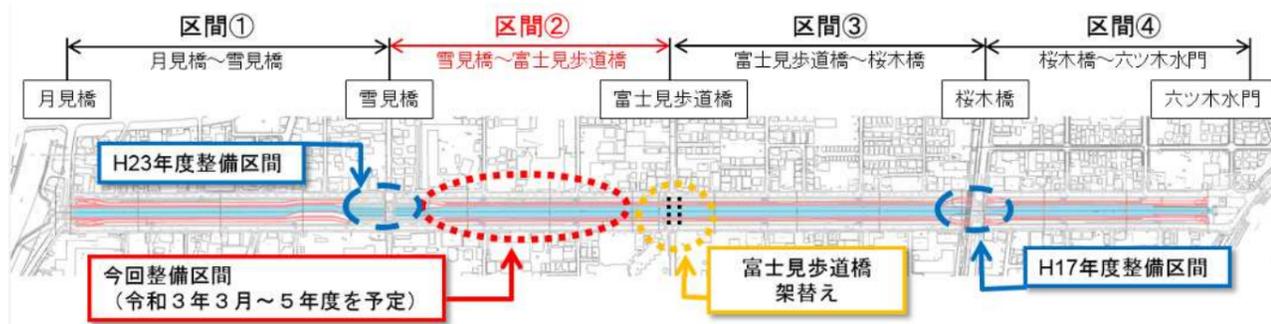
環境整備事業のお知らせ

Hanahata River News

主な質問	区からのお答え
水面幅が狭くなることによって、周辺地域の気温上昇が大きくなることはありませんか？	水面幅は狭くなりますが、専門家の意見を踏まえ、気温上昇を抑えるため緑の整備を行います。これに加え、散策路は保水性のある舗装の整備により、気温上昇を低減します。緑も水面も、気温上昇を抑える効果がありますが、水は透明度が高い場合に効果が高くなるなどの特徴があります。



主な質問	区からのお答え
花畑川全体の整備が完成するのに、何年ぐらいかかるのですか？	令和3年から10年程度を予定しています。今回の整備では、区間「雪見橋～富士見歩道橋」間(約250m)を、令和3年3月から令和5年度に行う予定です。花畑川約1.4kmを4区間に分け、区間の順で整備を進めていきます。富士見歩道橋は、今回の整備区間の工事完了後、歩道橋として架替えることを予定しています。



Picture: 富士見歩道橋から桜木橋を望む(イメージ)



整備方針

- 1 身近な自然としての河川
- 2 暮らしの中の河川
- 3 コミュニティの核としての河川

事業概要	事業名	花畑川環境整備事業
	事業箇所	花畑川全域
	主な工事内容	護岸の整備/散策路の設置/桜の植樹/富士見歩道橋の架替え
	事業期間	令和3年から10年程度(予定)

花畑川環境整備に関する問い合わせ先

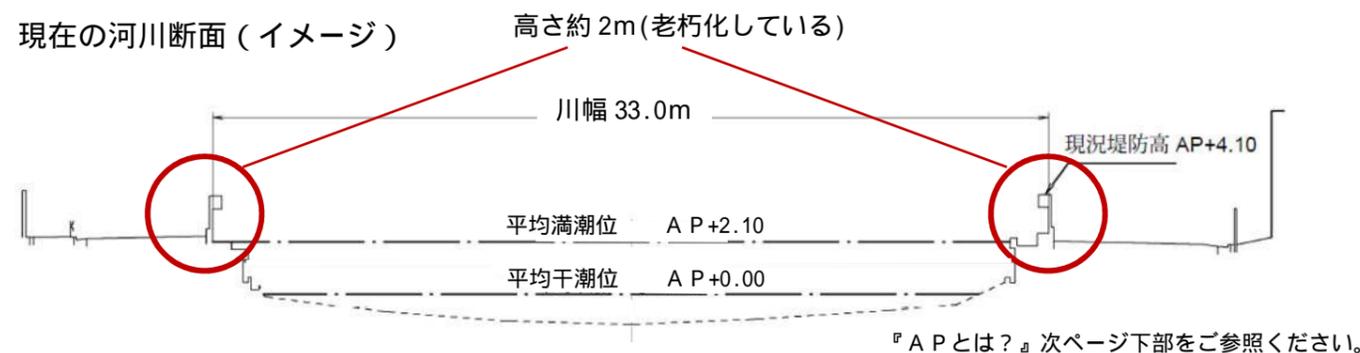
足立区 都市建設部 道路整備室 工事課 設計係 担当: 古賀・富田

電話: 03-3880-5009 (直通) FAX: 03-3880-5620 E: koji@city.adachi.tokyo.jp

今後、事業を進めていく上で、地域のみなさまと「花畑川を考える会」において、他の整備区間の計画立案を行ってまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

現在の花畑川の課題

現在
Before

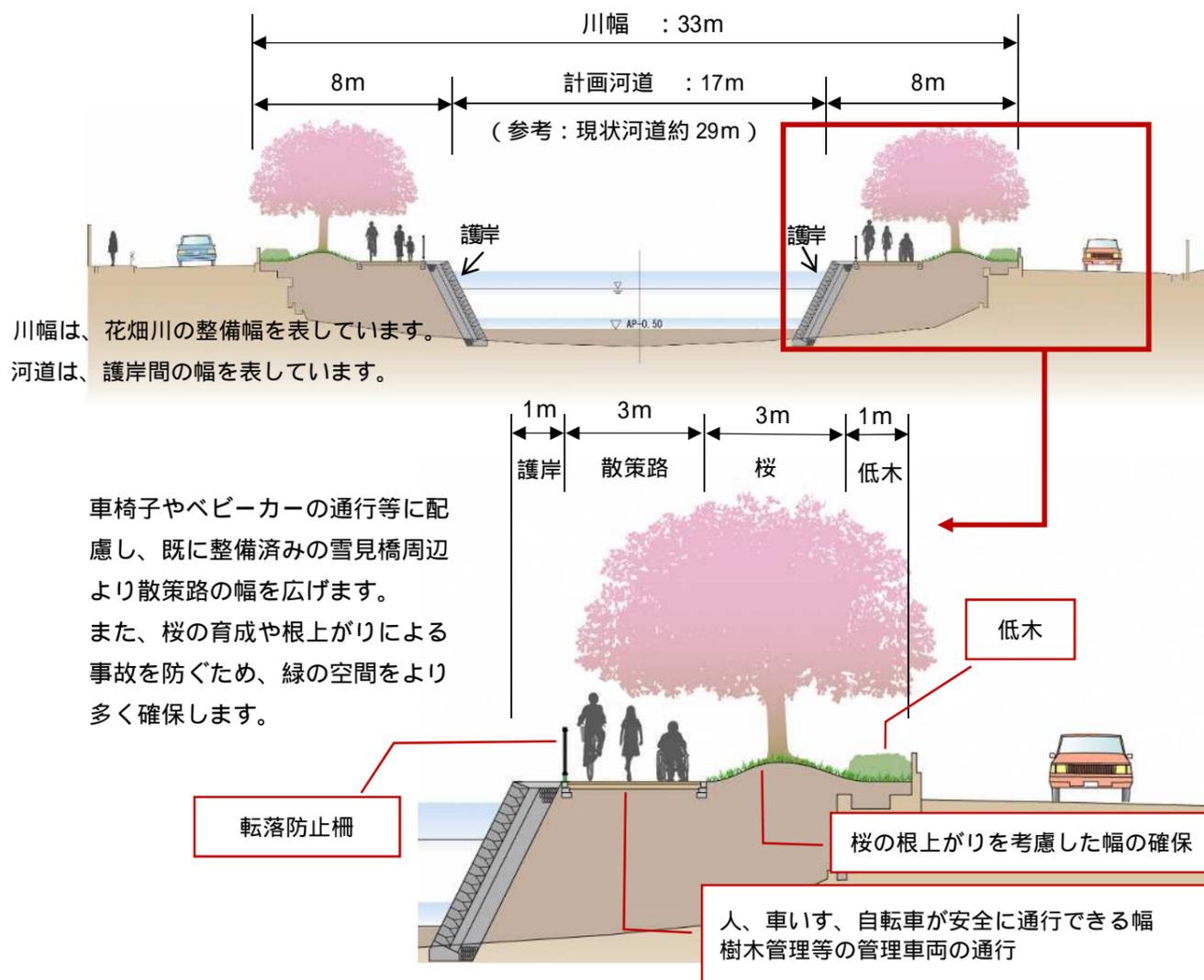


現在の花畑川は、川幅 33mの両側にコンクリートの壁があり、高さが道路面から 2mほどあるため、周辺から川が見えにくくなっています。また、整備完了から約 45 年たっており、一部が老朽化しています。

花畑川周辺にお住まいのみなさまの安全安心を守り、「憩いの場」「地域交流の場」として、河川の整備を進めます。

整備計画（雪見橋から富士見歩道橋区間）

整備後
After



整備に伴う主な質問と回答

Question
Answer

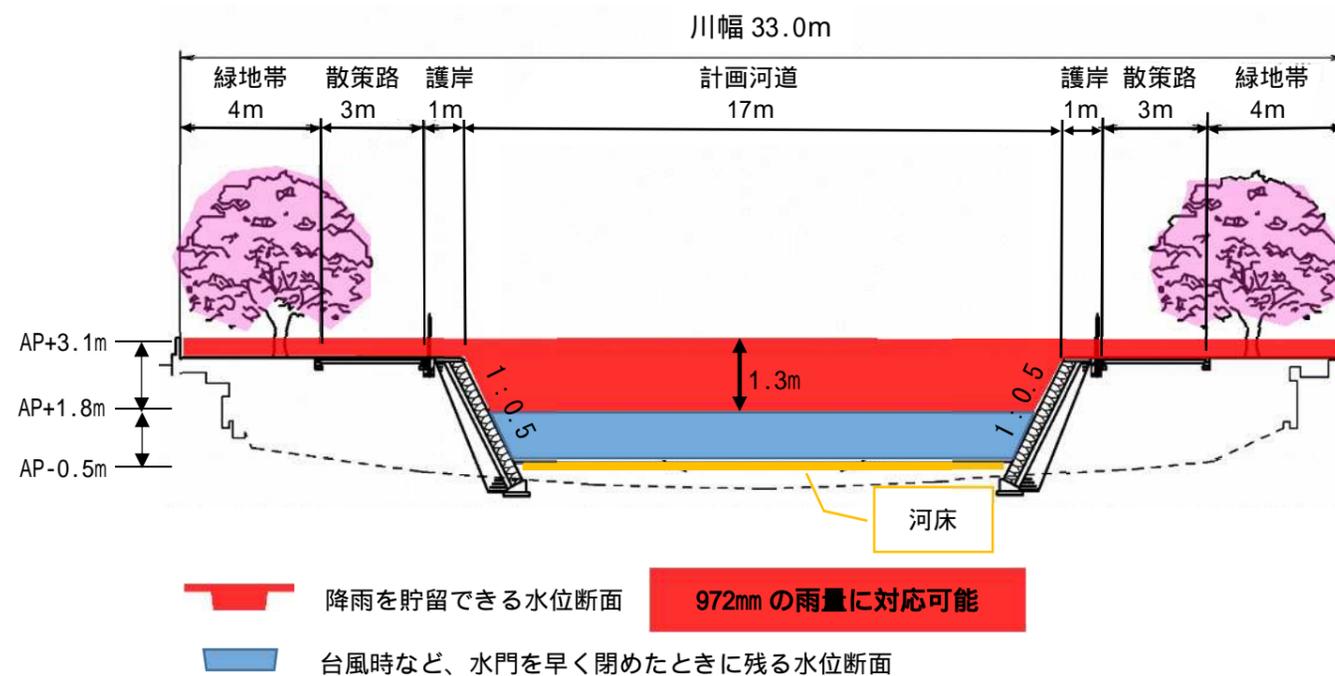
花畑川整備については、これまで地域にお住まいの方、花畑川で活動をされている方などと、説明会・意見交換会を計 5 回行いました。そこでいただいた主なご意見と、区のお答えをご紹介します。

今後も、説明会やチラシの配布等により、地域のみなさまに進ちょく状況をお知らせしていきます。

主な質問	区からのお答え
河道の幅が 29mから 17mになるとのことですが、幅が狭くなることで河川の氾濫が心配です。大丈夫なのでしょうか？	総雨量 972 mmの降雨に対応できるように整備します。 2019 年 10 月に発生した台風 19 号の雨（足立区役所地点の総雨量 163mm/10 月 12 日～13 日の 2 日間）や区の洪水ハザードマップで示す中川・綾瀬川流域の想定降雨規模（総雨量 596 mm/2 日間）、さらに平成 12 年に発生した東海豪雨（総雨量 589 mm/2 日間）でも氾濫することはありません。 なお、想定雨量に十分対応可能な河川ではありますが、万一の備えとして、排水ポンプの設置について検討してまいります。

【水門について】

花畑川と接続する綾瀬川、中川には水門があり、河川の水位が高い場合には水門を閉鎖します。水門を閉鎖すると、川からの流入は無くなり、花畑川に降る雨のみを貯留することになります。その貯留可能量が 972 mmになります。



『AP（アラカワペイル：荒川基準面）』
荒川水系の高さを示す基準高さをいいます。花畑川両側の水門を閉める際の水位高さ等に使用しています。土地の標高を表す基準である TP（東京湾の平均海面を 0mの基準面とした高さ）とは異なります。